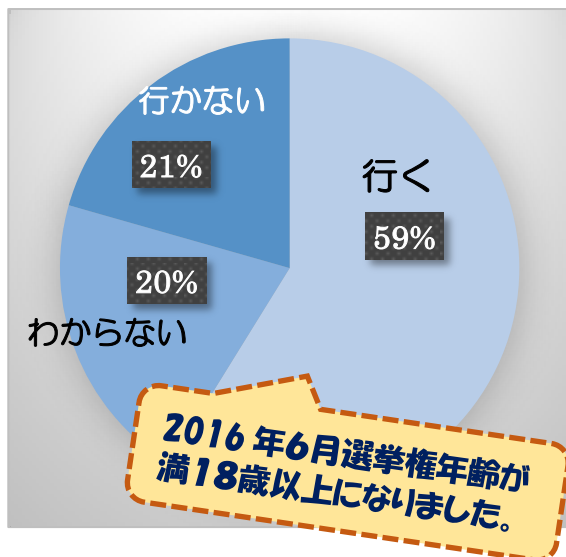


事前アンケート結果（抜粋）



高校生：34人

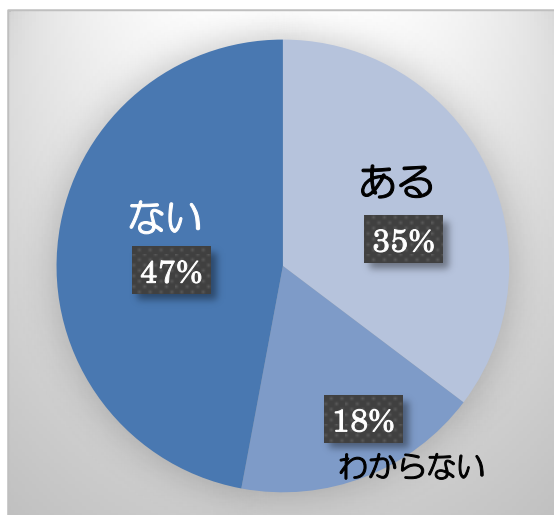
【選挙権があれば選挙に行く？】



【その理由は？】

- わからない。 時間がない。
- 政治に対する知識があまりないから（自分がしてもよいのか）
- 自分ひとりの力ではどうにもならない。
- 学校の授業で選挙について学んだので興味がわいた。
- 自分の意見を政治に反映させたい。
- せっかく与えられた選挙権を無駄にせず参加すべき。
- 社会の一員としての責任だから。
- 選挙に行かず決まったことを後から意見は言えない。
- 親が毎回必ず選挙に行っている。見習いたい。

【友達家族で政治や選挙の話をしたことは？】



【若い人が投票に行かないのは何故？】

- 関心がない。 面倒くさいと思っている。
- 自分ひとりがいなくてもという軽い気持ち。
- 政治がどうなっているかわからないから。
- 自分が投票しても何も変わらないと思っているから。
- 投票によって政策が変わるといふ事例を知らないから。

【どんな話？】

- 政治とお金の問題。
- 国政について。
- 政治のトラブルのニュース
- 誰が良いか。
- こんなに人数いらない？
- 学校での政治の授業。

【投票に行かない若い人が増えるとどうなる？】

- 若い人の意見が反映されず、高齢者の意見中心の社会になる。
- 若い人の意見がなく、経済が発展しない。
- 一部の意見しか反映されず、よいよい国づくりができない。

【若い人の投票率を上げるためには？】

- 選挙を身近なものにし、小さい頃から学ぶ。 模擬投票
- 学校の授業で取り上げる。 知る機会をつくる。
- 政治が身近にあるという自覚を持たせる。
- 若い人にも政治の必要性がわかりやすいように伝えること。
- 興味を持たせる情報発信。 CM ポスター。
- ネット投票（スマートフォンやパソコン）。 期日前投票増。
- 行きやすい環境づくり。会場に行かなくても投票できるシステム。
- 若者の意見を持った人の立候補。
- 市議会の情報をもっと若い人に向けて発信する。

＜4月下松市議会議員選挙：投票率＞

全年代：42.19%

18歳：17.99% (86人/478人)

19歳：16.70% (77人/461人)

参加してくれた高校生のみなさん。ありがとうございました。